

02 令和3年度町政施政方針・主要事業  
08 令和3年度当初予算概要  
10 令和3年度町職員配置表  
12 役場からのお知らせ  
令和2年度町教育委員会表彰 / 新型コロナワクチン接種券 / 国民年金保険料学生納付特例制度 / 認知症や介護について一緒に考えてみませんか / 狂犬病予防接種 / 地域活力創生事業補助金 / 住宅用太陽光蓄電システム / 館岩地域乗合タクシー / 鎌倉崎松ノ下線通行止め期間延長 / ふるさと納税応援寄附金  
18 すまいるだより vol36  
19 まちの話題  
ベストタイムを競い合う / 明治生まれのスーパーご長寿！ / 誰もがスキーを楽しめる環境を / JOC ジュニアオリンピックの舞台へ / 会津地域の観光プロモーション映像が完成 / 関係人口創出の可能性を探る / 卒業式・満了式フォトレポート / 社会教育の要として活躍 / 魅力ある農業経営の担い手に / 「私の地元応援募金」再び！ / 安心して参加できるイベントを目指して / 人に寄り添う女性自衛官に / 体験交流事業がつなぐ絆 / 長年にわたる献血協力に感謝 / 森林価値の向上に寄与 / 木工を通じて地域に活力を  
25 大宅町長の公務百景 / 納税こよみ  
26 健康通信  
健診のススメ / コロナに負けず介護予防 / 虫歯ゼロのお友だち / 乳幼児健診・相談カレンダー / 4月・5月の日曜当番医  
30 図書館へ行こう！  
31 まちの文芸 / 誕生おめでとう / お梅やみ / まちの人口 / 編集後記  
32 四季の彩フォトコンテスト審査結果

今月の表紙

3月27日に開催された聖火リレーで第1走者を務めた渡部陽稀くん。聖火リレーの詳細については、次号でお伝えします。



令和3年度  
町政施政方針

一人一人の声を拾い上げ、町政に反映させる―

ウィズコロナへの対応と

安全・安心のまちづくり

南会津町長 大宅 宗吉



「危機」に立ち向かう皆さまへ

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活を一変させ、それに伴う経済の落ち込みが、わが国

をはじめ世界に広がっています。町では、新型コロナウィルス感染症対策本部を設置し、感染拡大を防ぐ努力を重ねてまいりましたが、2件のクラスターが発生する事象となりました。

令和3年度町政運営の  
基本的な考え方

感染された方には、心よりお見舞い申し上げますとともに、介護施設の職員をはじめ、医師や看護師、病院スタッフ、救急搬送を担う消防署員、感染症対策に携わる保健所職員など、昼夜を問わず最前線に立つ皆さまに、深く敬意と感謝を表します。

また、感染予防対策にご協力をいただいている町民の皆さまや事業者の皆さまにも、心から感謝を申し上げます。

今回の事態を踏まえ、感染者の急増や重症者の発生などに対応できる医療提供体制を整えるよう、県に要請しているところです。

町では、新型コロナウィルスの感染拡大を防ぐとともに、町民の皆さまの命と健康、生活を守るため、全力を尽くしてまいります。

これまで「互いを思いやり、人と自然がやさしさに包まれた、安心と信頼のまち」の将来像のもと、「住んでよかったまちづくり、協働のまちづくり」に専念してまいりました。

令和3年度も引き続き、私の政治信条である「公平、公正、誠実、思いやり」に基づいて、常に初心を忘れることなく、地域の声に耳を傾け、思いやりと真心を持って前に進みます。

笑顔で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、町民の皆さまと行政の協働により、健康の維持と生活環境の充実、安全の確

保に向けた施策を重点的に進めてまいります。

令和3年度予算の  
編成にあたって

歳入の大半を占める普通交付税は、国勢調査人口の更新や合併算定替による特例加算措置の終了により、減額されることが想定されます。また、町税収入も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減収が見込まれています。

その一方、歳出では、社会保障関連経費の増加や公共施設の老朽化対策、さらには新型コロナウィルス感染症の影響を受けた町内経済の回復といった多額の財政需要が見込まれています。

以上のような、これまでにない厳しい財政状況に対応するため、「時代の流れを力にし、新しい生活様式に対応した持続可能なまちづくり」を予算編成基本方針として掲げました。

その上で、難局を乗り越えるために、これまでの慣行にとらわれることなく、すべての事務事業を見直すとともに、限られた財源を効果的かつ効率的に活用するため、全職員の英知を結集して予算編成を行いました。

必要な投資と財政規律の両立を保ちながら執行したいと考えておりますが、新型コロナウィルス感染症対策については、収束の見通しが立たない中で、機を逸することなく、必要な対策を講じてまいります。

― 施政方針文末より抜粋 ―

住んでよかったと思える町を目指し、地域や集落の特性を活かしたまちづくりを進めてまいります。

地方創生を進展させるためには、私たち一人ひとりが当事者意識を持ち、地域の将来を真剣に考え、できることを行動に移すことが大切です。

地域の魅力や課題を把握し、「地域のつながり」や「資源」を生かしながら、誰もが地域づくりを進めていくことができるよう支援します。

令和3年度も、対話を通し、より多くの声を町政に反映させるとともに、信頼関係を構築しながら、安全・安心のまちづくりと地域力の向上に、なお一層取り組んでまいります。

町民の皆さまおよび議員各位におかれましては、町政運営に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の所信とさせていただきます。



3月12日に開催された町議会第1回定例会冒頭で、大宅町長が施政方針を表明しました。

